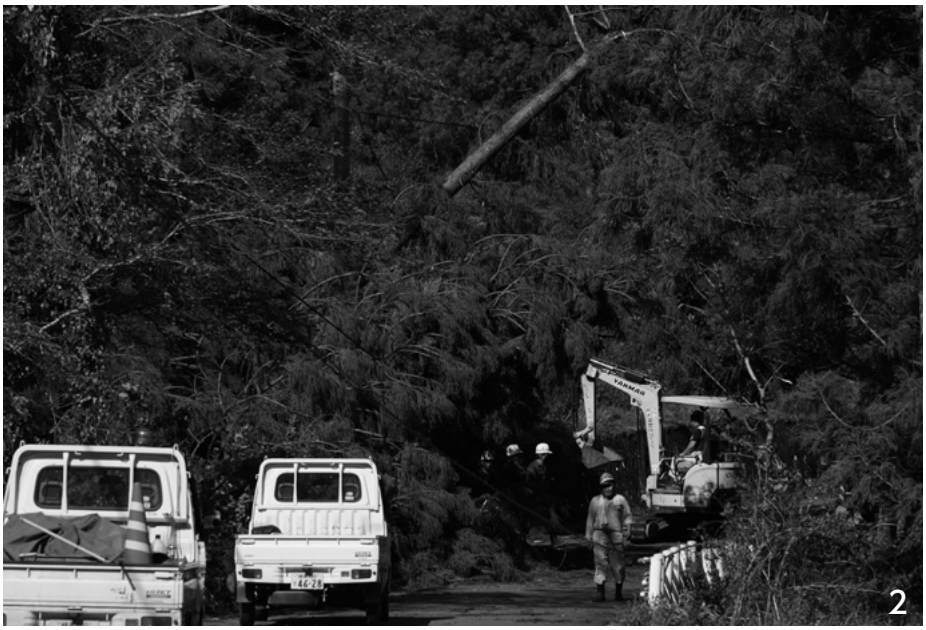
台風21号の爪あと

9月4日から5日にかけて西日本を中心に猛威を振るった台風21号は、市内でも各地で倒木による電柱、電線などの破壊やそれに伴う停電、通行止めなどを引き起こしました。

1

3


2

山間部を中心に多数の木が倒れ、電柱、電線などが破損。停電や道路の寸断を引き起こしました。（1、2、3神崎地区、4掛地区）
平野部でも、伊自良地域の複数の神社で倒木による被害が出たほか、市の特産品である栗が落ちるなど市内全域でさまざまな被害をもたらしました。（5松尾地区）

5

4

平成30年度山県市総合防災訓練のお知らせ

市の防災組織体制の機能確認、市民の防災意識の高揚と知識の向上などを目的として総合防災訓練を行います。

▼日時 10月28日(日)9時～正午(予定)

▼会場 伊自良中学校グラウンド

▼訓練内容
・ライフライン復旧訓練
・防災ヘリ、災害救助犬活動訓練
・伊自良地域の小中学生による災害対応訓練
・災害パネル展、LED大型ビジョンによる防災ビデオ上映など

問総務課 TEL 22-6820

昨年度の訓練の様子

山県市オリジナル演劇 やまがた日記2 ～日本のへそ・妖怪サミット～

8月3日、山県市オリジナル演劇「やまがた日記2」～日本のへそ・妖怪サミット～の出演者が市長を表敬訪問しました。

この演劇は花咲きホールの事業で、市内の子どもたちをはじめ多くの市民参加のもと実施し、今年で8回目を迎えます。

出演者は「今回の舞台は、観客席までステージが張り出し、今までにない舞台演出、芸術となっている」「前回の舞台を見て、自分も演じる側に立ちたいと今回応募した。今回の演劇を見て、演じる側になってくれる人がいたらうれしい」と語りました。

市長は「学校生活以外でできる、この体験を大切にし、演劇に参加したことが、心に残る人生の1ページとなってほしい。当日のステージを楽しみにしているので、本番までの練習を頑張ってほしい」とエールを送りました。

本番の2日間は、述べ400人の観客が、コミカルな演劇に笑い、迫真の演技に感激し「やまがた日記」の世界に魅了されました。

市内各地の夏祭

地域親睦から伝統行事まで、市内各地で行われた夏祭の様子を写真で紹介します。裏表紙にもカラーで掲載しているので、ご覧ください。

1. 山戸川送り　2. 千燈祭（せんとうさい）　3. 美山川まつり
4. 北山精霊送り　5. 伊自良夏まつり
6. 灯りフェスタ

みんなが通りたくなる地下道を高富中生徒が壁画ペイント

7月10日から13日にかけて、山県警察署前の地下道で行われていた、高富中生徒による壁画ペイントが完成しました。

同地下道での壁画ペイントは、夢屋高富505店が発案し、必要経費など負担。高富中文化部員が自分たちで考えたデザインで地下道の壁面をペイントするものです。昨年度も片面に実施しており、今回残りの面をペイントしたことで両側のペイントが完成しました。

次世代を担う中学生と市長と語る会

8月3日、高富中学校で「中学生と市長と語る会」が行われ、高富中から3人、伊自良中、美山中から2人ずつ生徒が参加しました。会では、各学校の生徒が、「安心と笑顔あふれる街山県」「観光地ラブレイクの魅力作り」「山県市の活性化」をテーマに、山県市の魅力発信と将来について検討した結果を提案しました。

市長は、生徒の提案に対して現在実施している施策などを紹介し、「皆さんが自信を持って市の魅力を説明でき、魅力ある地域と言えるようにしていきたい」など、活発な意見交換が行われました。

人権を考える市人権教育講演会

8月22日、美山中央公民館で、北朝鮮による拉致被害者の蓮池薫さんを講師に招き、「夢と絆」と題し、市人権教育講演会を行いました。

蓮池さんは、1976年に新潟県柏崎市の海岸で拉致された時の様子や、24年に及んだ北朝鮮での生活、2002年の帰国に至る心境などを、具体的なエピソードを交えて語りました。

蓮池さんは、「人生の夢を奪われ、家族を含めた絆を奪われた。北朝鮮に残されている人は、過酷な状況に置かれ、帰りを待つ家族も高齢化が進んでいる。解決は待ったなしの状態」と話し、約600人の来場者は熱意にあふれた講演に、熱心に耳を傾けていました。

「妖(あやかし)の世界」へと誘(いざな)う記念館でイラスト展と読み聞かせ

9月1日、古田紹欽記念館で、ミニ読み聞かせ会が行われました。

これは記念館で行われた、岐阜県在住のイラストレーターむらさきゆきさんの絵画展にあわせて行った企画です。むらさきさんは、日本や岐阜県の民話を基に、どこか妖艶(ようえん)で、懐かしくなるような作品を描かれています。

当日は、市内で読み聞かせ活動を行う西村かおるさんが、いつもよりヒンヤリと冷やされた記念館で地元の民話4作を朗読しました。来場者は、いつもと違う記念館で、不思議な民話の世界に引き込まれていました。

第12回全日本中学野球選手権大会ジャイアンツカップ出場報告

第12回全日本中学野球選手権大会ジャイアンツカップに出場する荒深靖友さん(美山中③)が出場報告のため、7月27日、教育長を表敬訪問しました。

荒深さんが所属する岐阜青山ボーイズは、東海地区予選の決勝戦で三重県一位通過の津ボーイズを破り見事全国大会への切符を手に入れました。

荒深さんは「ここ一番で活躍し、全国大会で力を発揮したい」と語り、教育長は「悔いの無いように力を尽くしてほしい」とエールを送りました。

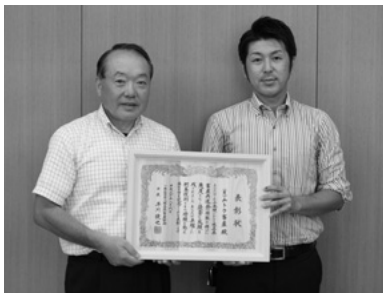
全国中学校体育大会出場選手が教育長を表敬訪問

8月10日、清水陽生さん(高富中③・柔道)と江竜悠陽さん(同校③・柔道)が全国中学校体育大会の出場報告に訪れました。

選手の2人は、「全国大会で練習の成果を出し切り、全力で勝ちに行きたい」「一つでも多く勝てるよう頑張りたい」と意気込みを語りました。

教育長は、「大きな大会では普段できない経験ができる。それを経験し少しでも大きく成長してきてほしい」と激励しました。

ムトウ畜産が市長を表敬訪問



8月22日、第70岐阜県畜産共進会(豚肉の部)で表彰を受けた(有)ムトウ畜産の武藤政臣さんが、市長を表敬訪問しました。

ムトウ畜産は、同会で過去10年間にわたり幾度となく優秀な成績を収めたことから、今回の受賞となりました。

武藤さんは、「これからも量より質で勝負したい」と抱負を語り、市長は「これを機会にさらに頑張ってほしい」と激励しました。

富岡小で「Pepper」プログラミング教室を開催

8月22日、富岡小学校で、人型ロボット「Pepper」を使用したプログラミング教室を開催しました。

「Pepper」は、社会貢献の一環として、プログラミング教育の支援を目的にソフトバンクロボティクス(株)が提供しているロボットで、この教室には富岡小の1~6年生の希望者と保護者の16人が参加しました。

児童は、おじぎなどの動作をプログラミングソフトに打ち込んで実際に「Pepper」を動かし、「自分が設定した動作をしていて、楽しかった」とプログラミングの楽しさを体験しました。

平田隆夫さんに高齢者叙勲「瑞宝双光章」を伝達

元公立小学校長の平田隆夫さん(高富)が高齢者叙勲の「瑞宝双光章」を受章され、8月29日に市長から受章伝達を行いました。

平田さんは、昭和26年4月に岐阜県教職員として伊自良中学校に赴任した後、岐阜市や高富小学校の教諭として勤務し、平成3年3月に退職するまで関市や岐阜市の小学校長を歴任されました。

情熱的かつ積極的に教育に取り組み、特に各地での実験校や指定校では推進役として県内教育の振興に貢献されました。

全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会優勝を市長に報告

第56回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会に出場した大鍬菜月さん(済美高校③)とコーチの松巾亜由先生が、8月30日、市長を表敬訪問しました。

広島県で8月1日から4日にかけて開催された団体戦、個人戦ともに出場し、ビームライフルで団体戦1位、個人戦21位という好成績を収められた大鍬さんは、当時を振り返り「毎日の練習の成果を出し切ることができた」と市長に報告。「素晴らしい結果。もっと一般的な競技になるよう、ぜひこれからも頑張ってほしい」と市長はエールを送りました。